

令和3年度 事業報告書

2021 Business report

令和3年度を
振り返って

法人概要

事業管理

各施設事業執行状況

研修実施内容



INDEX

I 令和3年度を振り返って	2
II 法人概要	3
III 事業管理	15
IV 各施設事業執行状況	21
1. 特別養護老人ホーム美原荘 軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘 特別養護老人ホーム美原荘「すごうの郷」	21
2. 特別養護老人ホーム春日丘荘 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」	23
3. 特別養護老人ホーム四條畷荘 養護老人ホーム四條畷荘	25
4. 特別養護老人ホーム光明荘	27
5. 特別養護老人ホーム高槻荘	29
6. 特別養護老人ホーム白鳥荘	31
7. 東大阪養護老人ホーム	33
8. 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか 特別養護老人ホーム永寿園とよなか	35
9. 軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘 特別養護老人ホーム豊寿荘	37
10. 軽費老人ホーム万寿荘	39
11. 軽費老人ホーム河南荘	40
12. 障がい者支援施設みずほおおぞら 特別養護老人ホームみずほおおぞら	41
13. 介護老人保健施設かがやき	43
14. OSJ研修・研究センター	45
15. 事務局	46
V 研修実施内容	47

令和3年度を振り返って

当法人は、おかげさまで昨年度末をもって法人設立50周年を迎える事ができました。令和3年度は『Next Challenge 感謝の想いを胸に、次の50年へ』のキャッチフレーズのもと、新たな50年に向けて持続可能な法人経営を目指すための取り組みをスタートさせるとともに、年度末には記念映像を作成し広く配信することで、これまでの歴史の振り返り、現在の取り組みとこれから目指すべき方向性をまとめることが出来ました。これもひとえに、これまで法人を支えて下さった多くの職員、ご利用者、ご家族、そして地域及び関係機関の方々のご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

さて、令和3年度の介護報酬改定では、感染症・災害への対応力強化、自立支援・重度化防止などの重点項目が新たに示されましたが、当法人においても、特に感染症・災害への対応力強化については、感染対策室を中心に標準予防策の徹底やマニュアルの整備、事業継続計画(BCP)の策定を進めるとともに、各施設が所在市町村の動向に注視しながらワクチン接種を迅速に進める事ができました。また、全国的な感染者数の急増に伴い法人内においても感染者や濃厚接触者が急増しましたが、その都度、施設内感染の防止に向けた取り組みの再徹底、応援が必要な施設への他施設からの職員の派遣協力など、法人全体が一つとなり早期の収束に向けて万全の態勢で臨みました。自立支援・重度化防止においては、科学的介護情報システム(LIFE)について、国の計画書の作成を要件とするプロセス加算の考え方を理解しその取り組みを進める事ができました。施設整備においては、高槻荘における1年9か月間に渡る大規模改修工事をご利用者の方々に多大なるご協力を頂きコロナ禍での安全第一に努め無事7月末にユニット型施設として竣工する事ができました。加えて、各施設においてWi-Fi環境を整備するとともに、見守り機器やそれと連動したナースコールなどICT機器のモデル導入も進める事ができました。

新たな取り組みでは、高槻市社会福祉事業団から4月に事業譲渡を受け新たに事業開始した在宅3事業の運営において様々な調整等を行いながら順調に軌道に乗せる事ができました。また、一般財団法人豊中市医療保健センターとの協働事業である「OS」とよなかケアスクール」においては一期生を迎え、リモート学習等の感染症対策も組み入れ無事一年間のカリキュラムを終える事ができました。その他、日本語学校の開校準備、茨木市内で3か所目となる地域包括支援センター及び、豊中市における基幹型相談支援事業所及び障害福祉センターの運営管理業務受託についてもスムーズな事業開始を目指して準備を進める事ができました。

コロナ禍が長引く中、地域における住民同士の関係は徐々に回復しつつあるものの、孤独、孤立や貧困等の社会問題が顕在化し、一方で地域共生社会の実現のためには、必要な世代や分野を超えた強いより一層の「つながり」が求められております。社会福祉法人はこの難しい課題に積極的に対峙し、その実現のために主体的に取り組む事が求められており、当法人におきましては、その社会福祉法人としての責務を果たし存在意義をより一層高めるとともに、すべての職員が改めて法人の使命を共有し将来を見据えた取り組みを明確に示すための第二期中長期経営計画前期計画を策定する事ができました。令和4年度からは、この計画にもとづき、職員・法人・地域のそれぞれの可能性を高めるための具体的な取り組みを進め、地域とともに躍動できる社会福祉法人を目指してまいります。

結びにあたり、令和3年度の当法人の歩みを前に進めるために、日々ご尽力頂きましたすべての職員の方々に心から感謝を申し上げますとともに、これまで積み重ねた実績を令和4年度の取り組みに活かし、当法人とつながるすべてのの方々の夢と幸せを実現するために、全力を尽くしていくこととお誓い申し上げます、今年度の振り返りとさせていただきます。

理事長 行松 英明

法人概要

1. 沿革

- 昭和46年 3月11日 社会福祉法人大阪府社会福祉事業団設立発起人会開催
大阪府民生部長畑中豊作氏を設立代表者に互選、設立準備に入る
設立認可申請書を厚生大臣に提出
役員定数を理事「9名」監事「2名」とする
- 昭和46年 3月25日 厚生省社第204号をもって認可される
- 昭和46年 3月30日 設立登記完了
第1回理事会開催
初代理事長に大阪府副知事湯川宏氏が就任
- 昭和46年 4月 1日 特別養護老人ホーム泉南特別養護老人ホーム(入所定員100名)、養護老人ホーム東大阪養護老人ホーム(入所定員150名)、軽費老人ホーム和風荘(入所定員70名)、同豊寿荘(入所定員100名)、婦人保護施設たまも寮(入所定員55名)、同あかね寮(入所定員50名)、精神薄弱者授産施設大東園(通所定員50名)の7施設の受託経営
軽費老人ホーム使用料収納事務の受託
- 昭和46年 5月17日 初代理事長湯川宏氏退任
- 昭和46年 5月18日 二代理事長畑中豊作氏就任
- 昭和46年 5月20日 軽費老人ホーム万寿荘(入所定員50名)の受託経営
- 昭和47年 5月26日 第二種社会福祉事業「医療社会福祉事業振興対策資金の貸付事業」の受託運営
- 昭和48年 4月 1日 補助金方式を委託料方式に改める
精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に増員
- 昭和48年 8月 1日 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営
- 昭和49年 7月24日 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員養成事業」の追加受託
- 昭和50年 4月 1日 軽費老人ホーム河南荘(入所定員100名)の受託経営
- 昭和50年10月 1日 泉南特別養護老人ホームにおいて「在宅老人機能回復訓練事業」の実施
- 昭和51年 3月31日 二代理事長畑中豊作氏退任
- 昭和51年 4月 1日 三代理事長大阪府民生部長榎居孝氏就任
- 昭和51年 7月31日 三代理事長榎居孝氏退任
- 昭和51年 8月 1日 四代理事長浅海浩氏就任
- 昭和52年 7月 1日 特別養護老人ホーム美原荘(入所定員120名)の受託経営
- 昭和52年10月 1日 特別養護老人ホーム春日丘荘(入所定員120名)の受託経営
- 昭和53年 7月 1日 精神薄弱者授産施設白鷺園(通所定員50名)の受託経営
- 昭和53年 8月 1日 特別養護老人ホームにおける「ねたきり老人短期入所事業」の実施
- 昭和53年11月18日 特別養護老人ホーム四条畷荘(入所定員120名)の受託経営
- 昭和54年 2月 1日 第二種社会福祉事業「老人総合センター」の受託経営
- 昭和54年 3月31日 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」を老人総合センターに移管し廃止
- 昭和54年 6月19日 四代理事長浅海浩氏退任
- 昭和54年 6月20日 五代理事長板東義雄氏就任
- 昭和55年 3月 1日 特別養護老人ホーム光明荘(入所定員120名)の受託経営
- 昭和56年 4月 1日 役員定数、理事「9名」を「11名」とする
附帯的公益事業「社会福祉会館」の受託経営
精神薄弱者授産施設白鷺園の通所定員「50名」を「60名」に増員
- 昭和56年12月31日 婦人保護施設あかね寮(入所定員50名)の廃止

- 昭和57年 2月 1日 特別養護老人ホーム高槻荘(入所定員100名)の受託経営
- 昭和57年 6月 1日 五代理事長板東義雄氏退任
六代理事長福田順一氏就任
- 昭和60年 4月 1日 特別養護老人ホーム白鳥荘(入所定員90名)の受託経営
- 昭和62年 6月15日 六代理事長福田順一氏退任
- 昭和62年 6月16日 七代理事長山中治氏就任
- 昭和63年 2月 1日 事業の経営を「大阪府の委託を受けて」を「大阪府等の委託を受けて」に定款変更
- 昭和63年 3月 1日 高槻市から第二種社会福祉事業高槻市老人デイサービスセンターの受託経営
- 平成 2年 3月31日 「老人総合センター」の受託経営廃止
- 平成 2年10月 1日 特別養護老人ホーム光明荘において「家庭奉仕員派遣事業」の実施
- 平成 3年 5月24日 七代理事長山中治氏退任
- 平成 3年 5月25日 八代理事長竹内壮彦氏就任
- 平成 3年11月 1日 婦人保護施設たまも寮において「婦人保護施設退所者自立支援事業」の実施
- 平成 3年12月 1日 高槻市老人デイサービスセンターにおいて「高槻市ホームヘルプサービス事業」の実施
- 平成 4年 4月 1日 東大阪養護老人ホームにおいて「虚弱老人短期入所事業」の実施
- 平成 4年 6月 1日 特別養護老人ホーム美原荘において「老人入浴サービス事業」の実施
- 平成 4年 7月 1日 特別養護老人ホーム春日丘荘において「茨木市ホームヘルプサービス事業」の実施
- 平成 4年 7月15日 高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「在宅サービス供給ステーション事業」及び「在宅介護支援センター運営事業」の実施
- 平成 5年 4月15日 高槻市郡家老人デイサービスセンター「B型からA型」に移行に伴う「訪問事業」「配食サービス事業」の実施
- 平成 6年 1月 1日 高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「高槻市身体障害者デイサービス事業」の実施
- 平成 6年10月 1日 特別養護老人ホーム光明荘において「光明荘老人デイサービスセンター」、「和泉市在宅サービス供給ステーション事業」及び「和泉市在宅介護支援センター事業」の受託経営(身体障害者デイサービスも含む)
- 平成 7年10月 1日 特別養護老人ホーム美原荘において「勤労意欲助長事業」の実施
- 平成 8年 3月14日 特別養護老人ホーム高槻荘において「高槻市身体障害者短期入所事業」の実施
- 平成 8年 3月31日 八代理事長竹内壮彦氏退任
- 平成 8年 4月 1日 九代理事長永井貞三郎氏就任
- 平成 8年 5月27日 役員定数、理事「11名」を「13名」とする
- 平成 8年10月 1日 特別養護老人ホーム美原荘において「美原町ホームヘルプサービス事業」の実施
- 平成 9年 3月31日 婦人保護施設たまも寮受託経営廃止
- 平成 9年 4月 1日 婦人保護施設「女性自立支援センター」(入所定員150名)の受託経営
茨木市より第二種社会福祉事業「茨木市立老人福祉センター沢池荘」「茨木市立沢池老人デイサービスセンター」の受託経営
- 平成 9年 4月21日 特別養護老人ホーム美原荘において「美原町在宅介護支援センター事業」の受託経営
- 平成 9年 7月 1日 泉南市より第二種社会福祉事業「泉南市立老人デイサービスセンター」の受託経営
- 平成10年 3月31日 九代理事長永井貞三郎氏退任

- 平成10年 4月 1日 十代理事長 家常恵氏就任
 軽費老人ホーム和風荘をケアハウスに建て替えケアハウス和風荘として受託経営
 茨木市立沢池老人デイサービスセンターにおける「ホリデイサービス事業並びに時間延長事業」
 の実施
 特別養護老人ホーム美原荘・春日丘荘における「24時間対応(巡回型)ホームヘルパー派遣事業」
 の実施
 特別養護老人ホーム美原荘において「ナイトケア事業及び父子家庭介護人派遣事業」の実施
 特別養護老人ホーム光明荘において「和泉市身体障害者短期入所事業」の実施
 特別養護老人ホーム四條畷荘において「福祉自動車送迎サービス事業」の実施
- 平成10年 6月15日 高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「訪問看護ステーション事業」の実施
- 平成10年10月 1日 泉南特別養護老人ホームにおいて「泉南市在宅介護支援センター事業」の実施
- 平成11年 5月 7日 特別養護老人ホーム美原荘において「美原町給食サービス事業」の実施
- 平成11年 9月 1日 泉南特別養護老人ホームにおいて「社会生活適応訓練事業」の実施
- 平成11年10月 1日 11の居宅介護支援事業所において「要介護訪問調査事業」の実施
- 平成12年 1月 6日 特別養護老人ホーム美原荘において「美原町老人デイサービス事業」の実施
- 平成12年 3月 1日 特別養護老人ホーム春日丘荘において「老人デイサービスセンター事業」「配食サービス事業」の
 実施
- 平成12年 3月31日 知的障害者授産施設大東園・白鷺園の受託経営廃止
 十代理事長 家常恵氏退任
- 平成12年 4月 1日 介護老人福祉施設、短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護、訪問看護事業における
 32介護保険事業所の指定を受け事業実施
 特別養護老人ホーム春日丘荘において「春日丘荘在宅介護支援センター事業」の実施
- 平成12年 4月13日 十一代理事長 興津進康氏就任
- 平成12年 5月 1日 特別養護老人ホーム白鳥荘において「配食サービス事業」の実施
- 平成12年 6月22日 特別養護老人ホーム美原荘において「高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業」の実施
- 平成13年 3月15日 特別養護老人ホーム四條畷荘において「配食サービス事業」の実施
- 平成13年10月 1日 女性自立支援センターにおいて「堺市知的障害者地域生活援助事業」の実施
- 平成14年 3月 1日 特別養護老人ホーム白鳥荘において痴呆対応型共同生活介護の指定を受け事業実施
- 平成14年 3月29日 事業団出資額40,000,000円を加え、基本金を50,000,000円とする
- 平成14年 3月31日 大阪府立施設の条例改正により6特養、1軽費の受託経営廃止
 泉南特別養護老人ホームの施設廃止、及び、これに伴い、介護老人福祉施設、短期入所生活介護、
 通所介護、訪問介護、居宅介護支援(2ヶ所)の事業の廃止
 特別養護老人ホーム高槻荘における訪問看護事業の廃止
- 平成14年 4月 1日 役員定数、理事「13名」を「9名」とする
 特別養護老人ホーム美原荘、特別養護老人ホーム春日丘荘、特別養護老人ホーム四條畷荘、特別
 養護老人ホーム光明荘、特別養護老人ホーム高槻荘、特別養護老人ホーム白鳥荘、軽費老人ホーム
 (ケアハウス)和風荘の設置経営の為、土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を
 開始する
 高槻市立郡家老人デイサービスセンターにおいて「精神障害者居宅介護事業」の実施
- 平成14年 8月 1日 特別養護老人ホーム美原荘において「精神障害者居宅介護事業」の実施

- 平成15年 4月 1日 短期入所、居宅介護、デイサービス、地域生活援助における15支援費事業所の指定を受け事業実施
高槻荘郡家デイサービスセンターの建物を高槻市から無償譲渡を受け、大阪府より同施設の土地を購入
特別養護老人ホーム春日丘荘において痴呆対応型共同生活介護の指定を受け事業実施
- 平成15年 7月 1日 特別養護老人ホーム高槻荘において福祉用具貸与事業の指定を受け事業実施
- 平成16年 2月 1日 東大阪養護老人ホームにおいて訪問介護事業の指定を受け事業実施
- 平成16年 4月 1日 軽費老人ホーム豊寿荘の土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する
茨木市立南茨木老人デイサービスセンターにおいて「老人デイサービスセンター事業」「配食サービス事業」の実施
南茨木居宅介護支援事業所において居宅介護支援事業の指定を受け事業実施
箕面市光明の郷ケアセンターにおいて「老人デイサービスセンター事業」「知的障害者デイサービス事業」の実施
特別養護老人ホーム6施設、養護老人ホーム1施設、軽費老人ホーム3施設の計10施設において社会貢献事業実施
- 平成16年12月 1日 特別養護老人ホーム高槻荘において訪問介護員養成研修事業の許可を受け事業実施
- 平成17年 3月31日 女性自立支援センターにおいて堺市知的障害者地域生活援助事業の廃止
大阪府医療社会福祉事業振興対策資金借入金利子補助事業の廃止
十一代理事長 興津進康氏退任
- 平成17年 4月 1日 東大阪養護老人ホーム及び軽費老人ホーム万寿荘、軽費老人ホーム河南荘の土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する
十二代理事長 中村幹雄氏就任
- 平成17年 5月 1日 四條畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」において「身体障害者」「知的障害者」「障害児」訪問介護事業実施
豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」において「精神障害者居宅介護等事業」の実施
- 平成17年 7月 1日 軽費老人ホーム豊寿荘をケアハウスに建て替えケアハウス豊寿荘として事業実施
- 平成17年10月 1日 軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘において特定施設入居者生活介護事業実施
- 平成18年 3月 1日 軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘において特定施設入居者生活介護事業実施
- 平成18年 3月31日 大阪府立女性自立支援センター事業運営終了
大阪府社会福祉会館の会館運営終了
- 平成18年 4月 1日 特別養護老人ホーム「豊寿荘」(入所定員50名)事業実施
特別養護老人ホーム豊寿荘において「短期入所生活介護事業」の実施
特別養護老人ホーム豊寿荘において「通所介護事業」の実施
特別養護老人ホーム豊寿荘において「診療所ゆたか」の開設
特別養護老人ホーム四條畷荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施
特別養護老人ホーム光明荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施
特別養護老人ホーム高槻荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施
白島荘グループホーム「華の家」において「短期利用共同生活介護事業」の実施
美原荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施
四條畷荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施
光明荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施

- 平成18年 4月 1日 白島荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施
短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与事業における24介護予防事業所の指定を受け事業実施
- 平成18年 6月 1日 東大阪養護老人ホーム訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施
豊寿荘デイサービスセンター「ゆたか」において「介護予防通所介護事業」の指定を受け事業実施
特別養護老人ホーム豊寿荘において「介護予防短期入所生活介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成18年 9月30日 光明荘デイサービスセンターにおいて実施していた「介護予防通所介護事業」の廃止
美原荘、四條畷荘、高槻荘、豊寿荘において実施していた障害福祉サービス事業「外出介護事業」の廃止
- 平成18年10月 1日 東大阪養護老人ホームにおいて「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」「外部サービス利用型介護予防特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
美原荘、春日丘荘、四條畷荘、光明荘、高槻荘、豊寿荘の訪問介護事業所にて障害福祉サービス「重度訪問介護」の指定を受け事業実施
光明荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施
美原荘訪問介護事業所において「地域生活支援事業移動支援事業」の指定を受け事業実施
- 平成19年 3月 1日 白島荘グループホーム「華の家」において「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成19年 3月31日 特別養護老人ホーム美原荘における「訪問入浴事業」の廃止
美原荘、光明荘、光明の郷ケアセンターにおける「障害者デイサービス事業」の廃止
- 平成19年 4月 1日 美原荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施
箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施
箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「地域活動支援センター事業」の実施
箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「入浴サービス事業」の実施
箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「日中一時支援事業」の実施
- 平成19年 6月 1日 春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「産前・産後ホームヘルパー事業」の実施
- 平成19年11月26日 特別養護老人ホーム四條畷荘竣工
- 平成20年 1月 1日 特別養護老人ホーム四條畷荘において「通所介護事業」の指定を受け事業実施
特別養護老人ホーム四條畷荘において「四條畷荘診療所」の開設
- 平成20年 2月 1日 養護老人ホーム四條畷荘(入所定員50名)事業実施
養護老人ホーム四條畷荘において「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成20年 3月31日 高槻荘における障害福祉サービス「経過的サービス事業」の廃止
- 平成20年 4月 1日 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「白島荘小規模多機能型居宅介護事業所「ひねもす」」の指定を受け事業実施
- 平成20年 8月 1日 軽費老人ホーム(ケアハウス) 豊寿荘において「介護予防特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成21年 3月31日 特別養護老人ホーム白島荘における「配食サービス事業」の廃止
- 平成21年 4月 1日 万寿荘において池田市立敬老会館での「老人福祉センター事業」の指定管理者の指定を受け事業実施
特別養護老人ホーム春日丘荘において「地域包括支援センター事業」の指定を受け事業実施

- 平成22年 3月15日 特別養護老人ホーム春日丘荘リニューアルオープン
- 平成22年 3月31日 特別養護老人ホーム美原荘における「配食サービス事業」の廃止
十二代理事長 中村幹雄氏退任
- 平成22年 4月 1日 十三代理事長 高木哲夫氏就任
- 平成22年 5月 1日 特別養護老人ホーム春日丘荘において保険診療の開始
高槻荘において「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成22年 6月 1日 春日丘荘グループホームにおいて「介護予防認知症対応型共同生活介護事業」「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「茨木市高齢者でいっしょサービス事業」実施
- 平成22年 9月 1日 特別養護老人ホーム美原荘、ケアハウス和風荘リニューアルオープン
特別養護老人ホーム美原荘において保険診療の開設
- 平成23年 3月 1日 特別養護老人ホーム春日丘荘において、「地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」、「小規模多機能型居宅介護事業」、「認知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成23年 4月 1日 堺市において堺市立北老人福祉センター、東老人福祉センター、堺市立美原総合福祉会館・美原老人福祉センターの指定管理者の指定を受け事業実施
- 平成23年 4月30日 高槻荘における「福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与事業」の廃止
- 平成24年 3月31日 美原荘における「在宅介護支援センター運営事業」の廃止
東大阪養護老人ホームにおける「居宅介護支援事業」の廃止
- 平成24年 4月 1日 美原荘において「地域包括支援センター事業」の指定を受け事業実施
- 平成24年 4月 2日 東大阪養護老人ホーム移転先土地の購入
- 平成24年 8月 1日 光明荘デイサービスセンター、在宅サービス棟リニューアルオープン
- 平成24年 9月21日 大阪府よりサービス管理者責任者等研修事業者の指定を受け事業実施
- 平成24年10月 1日 美原荘において「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業」の指定を受け事業実施
- 平成25年 1月15日 特別養護老人ホーム永寿園とよなか新築工事の竣工
- 平成25年 2月 8日 特別養護老人ホーム白島荘建て替え工事
- 平成25年 3月 1日 永寿園とよなかにおいて「地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護事業」、「通所介護事業」「短期入所生活介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成25年 3月27日 基本金の一部10,000,000円を大阪府へ返還し、基本金40,000,000円とする
- 平成25年 3月31日 特別養護老人ホーム光明荘リニューアル工事の竣工
- 平成25年 4月 1日 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかの指定管理者の指定を受け事業実施及び「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
春日丘荘において茨木市立老人福祉センター南茨木荘、茨木市立老人福祉センター桑田荘での老人福祉センター事業の指定管理者の指定を受け事業実施
大阪府より介護員養成研修(介護職員初任者研修課程)事業者の指定を受け事業実施
- 平成25年 7月17日 大阪府より相談支援従事者(初任者及び現任者)研修事業者の指定を受け事業実施
- 平成25年10月31日 東大阪養護老人ホーム建替え工事の竣工
- 平成25年12月 1日 東大阪養護老人ホームにおいて「通所介護事業」の指定を受け事業実施

- 平成26年 2月 1日 東大阪養護老人ホームにおいて「居宅介護支援事業」の指定を受け事業実施
- 平成26年 7月31日 特別養護老人ホーム白島荘建替え等工事の竣工
- 平成26年 8月 1日 OSJ工房よりそいの丘において「就労継続支援A型事業」及び「就労継続支援B型事業」の指定を受け事業実施
- 平成26年 8月 5日 法人事務局を大阪市中央区から箕面市に移転
OSJ研修・研究センター設立
- 平成26年10月20日 高槻市において高槻荘地域密着型サービス施設新築等工事の着工
堺市において、地域密着型特別養護老人ホーム(仮称)すごう新築工事の着工
- 平成26年12月 1日 白島荘において「計画相談支援事業」及び「障害児相談支援事業」の指定を受け事業実施
- 平成27年 2月13日 万寿荘における「居宅介護支援事業」の廃止
- 平成27年 4月 1日 茨木市において、沢池多世代交流センター、南茨木多世代交流センターの指定管理の指定を受け事業実施
みずほ・おおぞらにおいて、「生活介護事業」、「就労継続支援B型事業」、「短期入所事業」、「日中一時支援事業」、「計画相談支援事業」、「地域移行支援事業」、「地域定着支援事業」、「障害児相談支援事業」の指定を受け事業実施
- 平成27年 7月24日 高槻市において高槻荘地域密着型サービス施設新築等工事の竣工
- 平成27年 8月 1日 高槻荘において、「小規模多機能型居宅介護事業」及び「認知症対応型共同生活介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成27年 9月15日 堺市において、地域密着型特別養護老人ホーム(仮称)すごう新築工事の竣工
- 平成27年 9月28日 四條畷荘において「四條畷荘いっぷくステーション『よろか』」を開始
- 平成27年10月 1日 四條畷荘において「短期入所事業」の指定を受け事業実施
美原荘において、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」、「認知症対応型共同生活介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成27年10月 5日 豊中市において、障がい者、高齢者福祉サービス施設(仮称)みずほおおぞら園新築工事の着工
- 平成27年11月 1日 豊寿荘において、新千里東町に「居宅介護支援事業」「訪問介護事業」の指定を受け事業実施
- 平成27年12月 1日 豊寿荘において、新千里東町で「あいあい食堂」を開始
- 平成27年12月31日 永寿園とよなかにおいて、「老人デイサービス事業」を廃止
- 平成28年 4月 1日 豊寿荘において、原田介護予防センター、服部介護予防センターの事業を実施するとともに、各介護予防センター内において、「通所介護事業」の指定を受け事業実施
東大阪養護老人ホームにおいて、「地域包括支援センター事業」の指定を受け事業実施
OSJ工房よりそいの丘において、「特定相談支援事業」の指定を受け事業実施
- 平成28年 8月 1日 みずほおおぞらにおいて、「施設入所支援事業」、「就労継続支援A型事業」の指定を受け事業を実施、また、島江町「生活介護事業」、「就労継続支援B型事業」、「計画相談支援事業」、「地域移行支援事業」、「地域定着支援事業」、「障害児相談支援事業」を、また、稲津町から「短期入所事業」、「日中一時支援事業」、を同所に移転
- 平成28年 9月 1日 みずほおおぞらにおいて、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」の指定を受け事業実施
箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて、「生活介護事業」の指定を受け事業実施
河南荘において「福祉有償運送事業」の実施
- 平成28年12月 1日 永寿園とよなかにおいて「企業主導型保育事業」の実施

- 平成29年 3月31日 十三代理事長 高木哲夫氏退任
- 平成29年 4月 1日 十四代理事長 行松英明氏就任
役員定数、理事「9名」を「6名」とする
豊寿荘において、千里介護予防センター、柴原介護予防センター、庄内介護予防センターの事業実施
豊寿荘において、原田介護予防センター内で「居宅介護支援事業」の指定を受け事業実施
みずほおおぞらにおいて、豊中市から「生活介護事業」を引き継ぎ事業実施
- 平成29年 5月 1日 光明荘において、「認知症機能強化型地域包括支援センター」の委託を受け事業実施
- 平成29年10月 1日 OSJ工房よりそいの丘において、「委託相談支援事業」の委託を受け事業実施
- 平成29年11月 1日 豊寿荘において、原田介護予防センター内で「通所型サービスA」の指定を受け事業実施
- 平成30年 3月 1日 豊寿荘において、原田介護予防センター内で「企業主導型保育事業」の実施
- 平成30年 8月 1日 診療所ゆたかにおいて、「訪問リハビリテーション事業」の指定を受け事業実施
- 平成30年 9月 1日 豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」並びに「ひがしまち」において、「移動支援事業」の指定を受け事業実施
- 平成30年12月 1日 白島荘において、「移動支援事業」の指定を受け事業実施
- 平成31年 1月 1日 春日丘荘において訪問型サービスA（緩和）の指定を受け、事業実施
- 平成31年 3月31日 高槻荘における、「訪問入浴介護」の事業を廃止
- 平成31年 4月 1日 豊寿荘において、高川介護予防センターの事業実施
豊寿荘において、高川介護予防センター内で「通所介護」「通所介護相当」の指定を受け、事業実施
春日丘荘において玉櫛・水尾地域における「地域包括支援センター事業」の委託を受け事業実施
光明荘において「通所介護相当サービス」の指定を受け、事業実施
光明荘において「訪問介護相当サービス」の指定を受け、事業実施
白島荘において、「居宅介護（障がい）」「重度訪問介護（障がい）」の指定を受け、事業実施
- 令和 元年 5月 1日 白島荘において、箕面市立光明の郷ケアセンターにおける「日中一時支援」「入浴サービス事業」の事業を廃止
光明荘において「訪問看護」の指定を受け、事業実施
- 令和 元年10月 1日 東大阪養護老人ホームにおいて「居宅介護（障がい）」「重度訪問介護（障がい）」「移動支援」の指定を受け、事業実施
- 令和 元年10月18日 特別養護老人ホーム高槻荘の大規模改修工事の着工
- 令和 元年12月 1日 豊寿荘において、庄内介護予防センター内で「居宅介護支援」の指定を受け、事業実施
- 令和 2年 3月 1日 白島荘において箕面市立光明の郷ケアセンターにおける「共生型生活介護」の指定を受け、事業実施
- 令和 2年 4月 1日 かがやきにおいて、「介護老人保健施設」「通所リハビリテーション」「居宅介護支援」の指定を受け、事業実施
かがやきにおいて豊中市北西部圏域における「地域包括支援センター事業」の委託を受け事業実施
かがやきにおいて、一般財団法人豊中市医療保健センターとの協働事業として「とよなか人材育成センター」の事業実施
白島荘において箕面市東部における「地域包括支援センター事業」の委託を受け事業実施
- 令和 2年 7月 1日 豊寿荘において、通所訪問型短期集中サービス事業の委託を受け事業実施
- 令和 3年 4月 1日 かがやきにおいて、とよなか人材育成センターにおける介護福祉士養成施設「OSJとよなかケアスクール」を開始
- 令和 3年 4月 1日 高槻荘において「高槻荘ホームヘルパーステーション桃園」「高槻荘訪問看護ステーション桃園」「高槻荘ケアプランセンター桃園」を開始
- 令和 3年 7月30日 特別養護老人ホーム高槻荘の大規模改修工事の竣工

2. 評議員会

回	開催年月日	出席者数	議案項目
1	令和3年6月25日	7名	第1号議案 理事の選任 第2号議案 監事の選任
2	令和3年10月31日	7名	第1号議案 基本財産の処分 第2号議案 定款の一部変更
3	令和3年12月25日	7名	第1号議案 新規事業開始に伴う定款変更

3. 理事会

回	開催年月日	出席者数		議案項目
		理事	監事	
1	令和3年4月28日	6名	2名	第1号議案 職員への慰労品贈答に係る物品の購入
2	令和3年6月10日	6名	2名	第1号議案 令和2年度事業報告 第2号議案 令和2年度収入支出決算 第3号議案 ガス供給契約 第4号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正 第5号議案 職員の給与に関する規則の一部改正 第6号議案 パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正 第7号議案 マスター職員就業規則の一部改正 第8号議案 評議員会の決議及び報告の省略
3	令和3年6月25日	6名	2名	第1号議案 理事長の選定 第2号議案 業務執行理事の選定
4	令和3年9月24日	6名	2名	第1号議案 令和3年度収入支出予算の補正 第2号議案 公用車自動車保険契約締結 第3号議案 自動車賃貸借契約の締結 第4号議案 職員就業規則の一部改正 第5号議案 パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正 第6号議案 マスター職員就業規則の一部改正 第7号議案 常勤医師就業規則の一部改正 第8号議案 常勤教育職員就業規則の一部改正 第9号議案 OSJとよなかケアスクール学則の一部改正 第10号議案 職員の職務上の行為に係る訴訟等に要した弁護士費用の補助金に関する規則の制定 第11号議案 奨学金等貸与等規則の制定 第12号議案 基本財産の処分 第13号議案 定款の一部変更 第14号議案 評議員会の決議の省略
5	令和3年12月14日	6名	2名	第1号議案 新規事業開始に伴う定款変更 第2号議案 メンテナンス付カーテン賃貸借契約の締結 第3号議案 電気需給契約の締結 第4号議案 自動車賃貸借契約の締結 第5号議案 紙おむつ売買契約の締結 第6号議案 給食業務委託に関する契約締結 第7号議案 評議員会の決議の省略
6	令和4年2月25日	6名	2名	第1号議案 組織改編に伴う処務規則の一部改正 第2号議案 事業団用自動車管理規程の一部改正 第3号議案 役員賠償保険制度の加入 第4号議案 寄付金の募集

回	開催年月日	出席者数		議案項目
		理事	監事	
7	令和4年3月25日	6名	2名	第1号議案 令和3年度収入支出予算の補正 第2号議案 令和4年度事業計画 第3号議案 令和4年度収入支出予算 第4号議案 第二期中長期経営計画 第5号議案 新規事業開始に伴う定款の一部変更 第6号議案 評議員会の決議の省略 第7号議案 電気需給契約 第8号議案 経理規程の一部改正 第9号議案 職員の職の設置に関する規則の一部改正 第10号議案 職員の給与に関する規則の一部改正 第11号議案 パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正 第12号議案 マスター職員就業規則の一部改正 第13号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 第14号議案 公印管理規程の一部改正 第15号議案 文書規程の一部改正 第16号議案 施設長の任免 第17号議案 顧問の委嘱
8	令和4年3月29日	6名	2名	第1号議案 柴原障害者相談支援センターの委託契約 第2号議案 天王・東奈良地域包括支援センターの委託契約

4. 監事監査

監事は、法令、定款及び監事監査規程に基づき、理事の職務執行を監査し、計算関係書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書について適正に作成されているか監査を行い、監査報告を作成した。

監事監査日：令和3年5月28日

5. 評議員一覧

委嘱名	氏名
評議員	田中 進
評議員	西田 孝司
評議員	新庄 桂子
評議員	関川 芳孝
評議員	中谷 敬子
評議員	飯田 哲司
評議員	関家 鉄一

6. 役員一覧

委嘱名	氏名
理事	行松 英明
理事	荒田 房生
理事	高木 哲夫
理事	山上 幸雄
理事	佐藤 眞一
理事	齊藤 慎一郎
監事	葭矢 忠
監事	武本 勝司

7. 施設長会議

回	開催年月日	議案項目
1	令和3年4月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策等について 2 リスクマネージャーの役割について 3 基金の創設について 4 令和3年度体制について 5 新規事業の進捗状況について(高槻荘在宅三事業・OSJとよなかケアスクール)
2	令和3年5月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症発生状況について 2 事業報告について 3 決算概要について 4 障がい者雇用状況について 5 官公庁公印省略の動向に対する申請・届出書類提出時の手続きについて 6 介護福祉士養成校及び日本語学校で修学を希望する者に対する修学支援概要について 7 労働時間の適正化に向けた取り組みについて 8 四條畷荘・高槻荘における時間外勤務等の投書について
3	令和3年6月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 職員の採用及び退職の状況について 3 課題事業のあり方検討について 4 令和3年度内部監査について 5 車両事故防止に係る取組の促進について 6 認知症ケア事例集の作成に係る進捗状況について 7 令和3年度第2回理事会について 8 労働時間の適正化に向けた取組について
4	令和3年7月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 令和3年度総合防災訓練について 3 ワークフローシステム及び、共有ファイルサーバーの導入について 4 労働時間の適正化に向けた取組について
5	令和3年7月29日	<ol style="list-style-type: none"> 1 (臨時)法人内デイサービスセンターにおける送迎中の事故について
6	令和3年8月19日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 車両事故防止に係る取組に係る進捗状況について 3 令和3年度総合防災訓練の振り返りについて 4 職員の職務上の行為に係る訴訟に要した弁護士費用の補助金に関する規則の制定について 5 介護支援専門員実務研修費用等の補助について 6 労働時間の適正化に向けた取組について
7	令和3年9月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症等の対策について 2 令和3年度ストレスチェックの概要及びスケジュールについて 3 公用車自動車保険の契約更新について 4 令和3年度 入札スケジュール等について 5 内部研修体制等について 6 労働時間の適正化に向けた取組について 7 令和3年度10月人事異動について 8 上半期事業運営状況の総括について

回	開催年月日	議案項目
8	令和3年10月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症等の対策について 2 「特定技能」制度による外国人労働者の受入れについて 3 令和3年度第4回理事会について 4 内部研修体制について 5 利用者の死亡に伴う損害賠償請求事件について 6 労働時間の適正化に向けた取組について
9	令和3年11月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症等の対策について 2 令和3年度内部監査の報告について 3 令和4年度当初予算事業活動資金収支差額目標について 4 ワンダフルカードの活用について 5 労働時間の適正化について
10	令和3年12月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 よりそいの丘のあり方について 2 豊中市障害福祉センター施設運営管理にかかる委託事業について 3 敬老の里プロジェクト、ワークセンター小野原について 4 令和3年度第5回理事会について 5 感染症マニュアルの改訂等について 6 介護福祉士養成施設への特別推薦枠について 7 労働時間の適正化について
11	令和4年1月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について 2 介護職員処遇改善支援補助金を原資とした職員への支給方法について 3 豊中市障害福祉センターの事業受託について 4 茨木市地域包括支援センター再編に伴う事業受託について 5 令和4年度消耗品に係る業者選定について 6 労働災害防止に向けた取組について 7 ストレスチェック結果について 8 労働時間の適正化について
12	令和4年2月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度組織改編について 2 令和3年度補正予算および令和4年度当初予算の概要について 3 電気需要契約の経過について 4 新型コロナウイルス感染症対策について 5 天王・東奈良地域包括支援センターの受託について 6 送迎マニュアルの更新について 7 特定技能の受入れ等について 8 職員満足度調査の集計結果について 9 労働時間の適正化に向けた取り組みについて
13	令和4年3月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 不適切ケアについて 2 利用者送迎中の事故について 3 電気需要契約について 4 令和3年度第6回理事会について 5 令和4年度人事異動について 6 令和3年度末退職者および令和4年度辞令交付日程について

事業管理

1. 新たな取り組み

(1) 新規事業への取り組み

- ①介護福祉士養成施設(OSJとよなかケアスクール)を開校し、感染症予防に配慮したカリキュラムによる授業を実施する。
- ②高槻市社会福祉事業団から事業を継承するため昨年度から準備室を立ち上げ準備を開始していた在宅3事業について、出向職員としての受入れを行うとともに、高槻荘ホームヘルプステーション桃園、高槻荘訪問看護ステーション桃園、高槻荘ケアプランセンター桃園として指定を受け運営を開始する。
- ③日本語学校(OSJ日本語アカデミーとよなか)の運営開始に向け、現地エージェント等の関係機関との調整や、入学に向けての面接等を行い、在留資格認定証明書の申請手続きを終える。
- ④豊中市立障害福祉センターひまわり施設運営管理業務事業者の公募へ応募し選定を受け、職員の確保及び事業開始に向けての引継ぎを進める。
- ⑤豊中市において柴原障害者相談支援センター業務委託の公募に対し応募し選定を受ける。
- ⑥茨木市において天王・東奈良地域包括支援センター運営業務委託の公募に対し応募し選定を受ける。
- ⑦OSJ工房よりそいの丘の土地・建物管理とその有効活用を含めた今後の在り方についての検討を開始し、産官学連携等を組み入れ重層的な福祉課題を受けとめられる新たなプロジェクトの素案を作成する。

(2) サービスの質の向上、サービスの標準化に向けた取り組み

- ①科学的介護情報システム(LIFE)へのデータ提出を行うと共に、フィードバック結果を基に個別サービスへとつながる体制づくりに取り組む。
- ②介護業務のより一層の標準化を図るため、eラーニングの講座内容を根拠とした介護業務の手順書の作成に着手する。
- ③各診療所の新型コロナウイルス感染症対応として、利用者、職員へのワクチン接種、発症者に対する投薬対応等の医療体制の充実に取り組む。

2. 50周年記念事業の開催

- ①創立50周年を迎え当法人の今までの歩みの紹介、全施設が参加しそれぞれの施設における現在の取り組み、そしてこれからの50年に向けての想いが伝わる動画を制作し、配信する。



- ②50周年記念出版として、編集委員会顧問に大阪大学大学院教授の佐藤先生を、事例集の監修に弘前大学大学院准教授の大庭先生を迎え、当法人が大阪大学との共同研究を進めてきた長年の取り組みの成果として「認知症ケア事例集」を編纂し発刊する。



- ③これからの50年先を見据え、法人の理念の枠組みを新たに定めるとともに、第二期中長期経営計画前期計画を策定し、令和4年度から10年後のあるべき姿を目指していくため、職員・法人・地域それぞれの可能性を高めるための取り組みをまとめる。

法人理念

Mission — 法人の使命 —

私たちはつながるすべての人の夢を応援し、
すべての人の幸せを支え続けます

OSJ Vision 2031

可能性を高め、地域とともに躍動する法人へ

Value (行動指針)

実践的理念「よりそう想い つながる心」

3. 新型コロナウイルス感染症、災害発生、車両事故等のリスク管理

(1) 新型コロナウイルス感染症予防対策

- ①感染予防、発生時の対策をより一層強化するため、事務局に感染対策室を設置する。
- ②各施設の標準予防対策を確認するため、ラウンドによる現地指導と感染症発生施設に対する積極的な介入により感染拡大防止に向け取り組む。
- ③感染症マニュアルの見直しと感染症発生時における事業継続に向けたBCP計画の策定を進める。
- ④複数の陽性者が発生した施設においては、大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チーム(OCRT)へ相談し、助言を受けるなどの対応を進める。
- ⑤白島荘においては、市の補助金を活用し陽性者隔離のための簡易陰圧室を購入する。

(2) 災害発生に備えた取り組み

- ①災害発生時に活用できる情報共有ツールの構築及びそれを試用した総合防災訓練を実施する。
- ②災害発生時における事業継続に向けたBCP計画を策定する。
- ③災害発生時に空調等を稼働するための電力確保が可能となる自家発電機器設置に向けた検討を開始する。

(3) 車両事故防止のための取り組み

- ①車両事故防止及び被害軽減のため、法人内の全車両に安全装置付車両への順次入れ替え計画を策定する。
- ②より一層の車両安全運行管理体制強化を目的とした、外部コンサルによる分析と車両等管理規程及び送迎マニュアルを改訂し運用を開始する。



4. 職員の確保、定着等のための取り組み

(1) 職員確保のための取り組み

- ①新規学卒者のうち、無資格・未経験者に対して基礎的な知識を学べる機会を設けるため、もれなく初任者研修を受講してもらえる体制とする。
- ②インターンシップをより一層活用して頂きやすいものとするために、従来の有償での参加に加え、参加のための移動にかかる交通費や宿泊費支給について制度化する。
- ③多数のオンライン就職説明会や就職フェアへの参加と推薦校を含めた大学、専門学校、高校への訪問とリクルーターを任命し母校での採用アプローチを重点的に実施する。
- ④就職するにあたり必要となった経費を法人が負担するための就職就学準備金、介護福祉士養成施設入学者の学資及び学習環境を整えるための奨学金制度を創設する。
- ⑤新たに特定技能外国人を安定的に受け入れるための諸外国との関係構築を図るとともに、受け入れにあたっての具体的な手続きや登録支援機関への登録に向けての検討を開始する。

(2) 職員定着のための取り組み

- ①子育て、介護、就学などの自己啓発、疾病などを理由とした、ライフステージに併せて一日あたりの就業時間又は週の労働日数を短縮できる制度を導入する。
- ②新規採用職員が同期のつながりを高め、また、日々の不安を解消できるようビジネスチャットを活用した職員間の情報共有や事務局職員へ気軽に相談できる機会を一年間通じて提供する。
- ③新規採用職員の対応について、OSJ研修・研究センターと施設の人材育成担当職員の役割を明確にし、スキルブックを通じた教育体制を構築する。
- ④労働安全衛生法にもとづくストレスチェックについて、従来の個人のストレス状況の把握に加えて、職場環境の分析や仕事に対するモチベーション等の把握が可能となるよう、57項目から80項目実施へ見直す。
- ⑤高ストレスと判定の出た職員だけでなく、コメントに悩みや不安を記載する職員に対してもストレス低減を目的としたカウンセラーからの電話等による職員への支援体制を充実させる。
- ⑥職員が職務上の行為に係る訴訟等に要した弁護士費用を法人が補助する制度を導入する。

(3) 業務省力化に向けての取り組み

- ①介護老人保健施設かがやきにおいて、利用者の状況を把握することのできる見守りセンサーと連動するナースコール、電子記録システムを導入する。



- ②スケジュール共有、回覧、電子決裁が可能となるグループウェア及びワークフローシステムの段階的導入を開始する。
- ③昨年度に引き続き、Wi-Fi環境の整備やオンライン会議定着のための取り組みを進める。
- ④職員間の情報共有や、利用者支援で応援が必要な時に、タイムリーに連絡を取ることができるインカムの導入を進める。

5. 内部管理体制の運用状況

- ①業務の適正を確保するための体制(社会福祉法第45条の13第4項第5号)として、「内部管理体制の基本方針」(平成29年5月29日理事会決議)に基づき、内部管理体制を運用した。
- ②内部監査の実施
 実施時期:令和3年8月10日～令和3年10月28日
 実施対象:13施設
 実施回数:61回
- ③会計監査人監査の実施
 実施日:令和3年9月22日 令和3年10月5日 令和3年10月25日

6. 施設整備・保全計画の実施

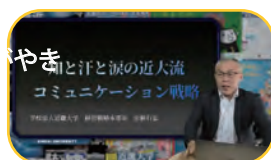
①令和元年10月から着工した高槻荘大規模改修工事については、1年9か月間の工事を経て、多床室からユニット型施設へ転換するとともに、ICT機器の導入や、診療所の設置、常勤医師の配置による医療体制の充実を図る。



- ②老朽化していた美原荘、豊寿荘、かがやきにおける空調システムの更新とすごうの郷の外壁塗装を更新する。
- ③河南荘のこれからの在り方についての検討を行う。
- ④万寿荘の大規模改修工事の方向性について、改修内容や整備費用等についての検討を開始する。
- ⑤春日丘荘、河南荘の防水工事を行う。
- ⑥美原荘、和風荘のダムウェーダー更新工事にかかる準備を開始する。

7. その他の取り組み

第54回全国社会福祉事業団協議会全国大会開催の開催担当として「令和の時代に求められる社会福祉事業団のリノベーション戦略」と題し、これからの社会福祉法人の在り方や、ブランディング戦略、組織の育成法等について学べる講演プログラムとし、また、コロナ禍においても、より多くの方々の参加が可能となるよう当大会において初めての動画配信により開催する。



8. 地域における公益的な取り組みの推進

	活動内容
美原荘	平尾地区・菅生新田地区で延べ 10 名の方に対し、地域でのスーパーの買い物支援を実施。
春日丘荘	コロナワクチン接種のため高齢者の方の送迎サービス、子育て世代の親子、地域住民との交流のためガンバ大阪と協働してのサッカー教室を開催。
四條畷荘	いっぷくステーションよろかにてスマホ教室を 2 回実施し、YouTube や ZOOM などのビデオ会議ツールのつながり方などをレクチャー。
光明荘	自治会と光明荘職員との協働で庭の剪定及びゴミの片づけを行い、住環境の改善につなげる。引きこもり者等住民同士の交流の場づくりで、住宅集会所にて「なんでも相談会」を開催。
高槻荘	高齢者の服薬管理や福祉用具に関する講座開催を支援したり、近隣小学校での福祉教育への協力や認知症サポーター養成講座の開催などを通じて、認知症の人にやさしい地域づくりを推進。
白島荘	下校時の見守り隊、小学校 2 校、中学校 1 校の車いす体験授業を実施。
東大阪養護	近隣の近畿大学建築学部の学生向けに、オンラインでの認知症サポーター養成講座を開催。廃品回収のお手伝い、敷地境界線近くの草木の伐採、敷地内にある資源（黒竹）の無料配布を行った。
永寿園とよなか	地域拠点づくりに向けて、専門職による地域向けの公開講座について、感染症対応で来園が難しい場合でも施設のブログや YouTube を活用し、広く発信。
豊寿荘	豊中市西丘男性ボランティアの会の方々と協働で事業所近くの公園及び周辺環境の清掃、下校児童の見守り等を定期的に行い、コロナ禍でも地域活動を積極的に取り組んだ。
万寿荘	ダイエーの移動販売を毎週水曜日に加え土曜日も実施し、入居者だけでなく買い物に行き難い地域住民の方に喜んで利用していただけた。
みずほおおぞら	近隣小学校で ICT 機器を活用した出張授業を行い福祉教育の一端を担った。 地域住民ボランティアによる調理レク等リモート機能を活用し約 20 回実施し、交流をもった。 地域ニーズの把握を目的に、自治会協力のもとリアカーによるパン販売を月 2 回実施。
かがやき	刀根山地区で校区福祉委員や社会福祉協議会と連携しながら、施設の送迎車両を使った買い物送迎を開始。

笑顔いきいき
365日

美原荘



事業施行概要

「困ったときの美原荘」と地域のニーズに応える事業推進

買い物不自由な地域住民に対して、りんりんバスを運行し、生活基盤の支援を行いました。また、堺市からの要請により、介護者家族が新型コロナウイルス感染症に罹患した際に、要介護者の見守り支援を行う「在宅ケア継続支援事業」に職員を派遣しました。



ステップアップ事業

短期集中通所サービス事業の実施

美原老人福祉センターにおいて、「短期集中通所サービス事業（老人福祉センター型）」を開始しました。

達成内容

令和3年10月より事業を開始し、延べ145人の方にご利用いただきました。



感染症対策をしながら地域のボランティア活動受け入れによる入居者のQOL維持と地域連携

リモートやオンラインでのボランティア活動を受け入れていくことで、入居者のQOL向上を目指しました。

達成内容

リモート等での活動を模索して、ヤクルトが行うオンライン講座を実施することが出来ました。

見守りの援助導入による、自立支援の促進

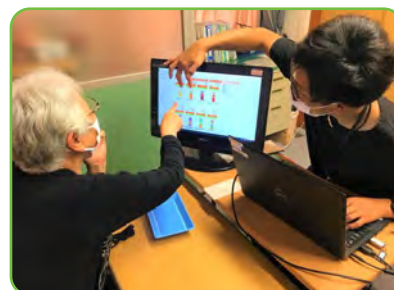
認知症ご利用者の訪問サービスを中心に、自立支援に向けたアセスメントを実施し、ご利用者3名のプランに自立支援にかかる身体介護を位置づけることができました。

医療サービスの充実

介護職員の喀痰吸引対応が可能な体制づくりにおいて、美原荘職員2名の喀痰吸引の基礎研修を実施しました。次年度は、実地研修を計画的に進めていきます。

新たなサービスの実施に向けた取り組み

コロナ禍のQOL向上に向け、入居者全員対象にネットショッピング代行を実施、特定契約者は個別アクティビティを設定し、ケアプランに反映してPDCAサイクルで実施しました。



リハビリテーションの充実

機器の導入と機能訓練の充実を目指したサーキット方式の導入を開始しました。また、訓練時間も30分程度に延長する「リハビリ30」を実施しました。



職員定着に向けた取り組みの推進

- ① 外国人技能実習生2名は、介護技能実習評価試験に合格するなど、着実に指導することができました。また未経験者の採用時にも介護技術等をわかりやすく丁寧に伝えることで、職員の指導力の向上、職員定着につながりました。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策のため集合研修よりもe-ラーニング研修が多くなったが、e-ラーニング研修受講者の3割を非常勤職員が占めており、その力量や勤務意欲向上につながりました。

地域 公益事業

りんりん（隣鈴）バス事業による地域貢献事業の推進

平尾地区・菅生新田地区で延べ10名の方に対し、地域でのスーパーの買物支援を実施しました。

ご利用者に老人福祉センター利用の提案も行いました。



その人が望む
暮らしの実現へ

春日丘荘

事業施行概要

介護予防の積極的な取り組み

地域住民との交流と介護予防を目的に「らじ丘体操」を行いました。ご入居者様にはDVDなどを用いて介護予防対応を継続的に活用することで筋力低下防止に努めました。

ステップアップ事業

買物移動支援の発展

地域にとってなくてはならない事業になり、多数の方が利用されました。令和3年度は地域ニーズに合わせて送迎サービスを発展させ、地元イオン便への送迎ルートを新設することが出来ました。

達成内容

担当職員を配置し、実施日増、目的地の商業施設等により、利用者のニーズに応えました。



余暇活動や世代間交流にも
取り組むことができました♪



重点項目

職員定着に向けた取り組みの推進

新人職員や無資格未経験職員を中心に人材育成、フォローアップや面談を行いました。
事業所の垣根をなくし、全体でフォローしながら職員育成を行うことが出来ました。



施設整備について

老朽化していた春日丘荘屋上の一部、デイサービスの屋上の防水工事を完了することが出来ました。

介護ロボット、ICT 機器等の活用

全館 Wi-Fi 環境の構築を行い、タブレットなどを用いて業務効率化が出来ました。次年度はインカムの運用と更なる ICT 化を目指して利用者サービス向上を目指していきます。

リハビリテーションの充実

オリジナルリハビリ DVD の作成や配布、訪問リハビリ事業所との連携等、コロナ禍におけるリハビリの充実のための取り組みを行いました。

地域 公益事業

地域公益事業の積極的な実施

住み慣れた地域で元気に生活ができるよう、高齢者においては新型コロナワクチン接種のための送迎サービス、子育て世代の親子、地域住民との交流のため、ガンバ大阪と協働してのサッカー教室を開催することが出来ました。



～地域の皆様に信頼と安心を～

たくさんの笑顔に
出会いたい

各施設事業執行状況

3

四條畷荘

事業施行概要

魅力を発信する～たくさんの人に知ってもらいたい～

地域住民と共に取り組んだ「灯籠祭り」で、コロナ禍における入居者と家族との交流を実現し、また、リモートによる保育園やボランティアとの交流、ブログ更新などの発信ができました。



次の5年に向けた4つのモットー（「ゆったりとしたお風呂」「楽しい食事」「気兼ねの無い排泄」「やさしい職員」）の深化と実践

デイサービスにおいてはホスピタリティ委員会を中心に、「ゆったりとしたお風呂」を深化させました。

達成内容

入浴時間の延長のためにサービス内容を見直し、午後浴に時間を確保し、気持ちよく入浴して頂ける環境を整えました。

養護老人ホームにおいては「楽しい食事」を深化させました。

達成内容

食堂の雰囲気を変えるために床をフローリング調にし、観葉植物を随所に配置した上に、心地よい音楽を流しながらの食事時間としました。

4つのモットーに込めた「想い」を見直すための委員会を設置しました。

達成内容

委員会では、まず4つのモットーの浸透度を検証するために、ユニットをラウンドし、聞き取りとチェックを行い、見直しに向けた検討を始めました。

看取りサービスの充実

- ①看取り支援に係るチェックリストを作成し、職員全員が統一したケアをシームレスに行える取り組みを行いました。
- ②チェックリストを用いて家族へのごまめな声掛け・支援を盛り込むとともに、看取り後に振り返り会議を行うことでグリーフケアにつなげました。

新たなサービスの実施に向けた取り組み

- ①歯科クリニックの往診を依頼し、嚥下障害の観点から食事困難者の方への評価・職員への介助指導を実施しました。
- ②歯科クリニック往診時に「ごっくんプロジェクト委員会」を開催し、多職種合同でケアの質の向上に取り組みました。
- ③上記取り組みを行うことで2名の利用者が胃婁から経口摂取への移行に成功しました。

認知症ケアの推進

認知症ケアについて、介護職だけでなく多職種の意見も取り入れ、様々な視点から取り組みました。



リハビリテーションの充実

養護老人ホームでの「訪問リハビリテーション事業」のさらなる発展。各部署の機能訓練指導員が定期的な会議を通じて知識の共有、連携強化に努めました。地域活動として、健康予防教室やポールウォーキングなど地域のニーズに合わせた活動を実施しました。



キャリア目標が持てる職場環境づくり

コーチング研修（集合・面談）を2クール18名の職員に実施しました。「相手の可能性を引き出すコミュニケーション」を向上させ、面談や会話に活用し、個人目標等にも活用予定。

フォローアップ研修によるスキルアップと面談によるコミュニケーション作りを行いました。

新しい雇用の創出

専門学校・大学の実習指導者会・実習発表会への参加ができました。中学校・高校への介護の魅力発信の講義を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症蔓延の為中止となりました。中国人技能実習生への介護講座及び日本語講座を開講し、レベルアップにつなげ、介護技術評価試験の全員合格、日本語 N3 合格を実現しました。



地域 公益事業

スタジオ「よろか」の開設

いっぷくステーションよろかにてスマホ教室を2回実施し、YouTubeやZOOMなどのビデオ会議ツールのつながり方などをレクチャーしました。情報発信として、施設での活動や地域活動をYouTubeにて配信し、様々な方とつながりました。





光明荘

事業施行概要

ACP の考えを取り入れ、サービスの充実につなげる

ACP（人生会議）の推進にあたり、特養では外部で開催されている ACP ファシリテーター養成講座を受講した職員を中心に、取り組みを検討し進めました。特養の機能面や入居者の重度化により、実施についての課題も把握できました。

在宅事業では、地域で開催される ACP についてのセミナーや事例検討会に積極的に参加し、理解を深めることに努めました。



特養における、ACP の考えに基づくサービスの充実

外部機関で開催されている、ACP ファシリテーター養成研修を受講しました。

達成内容

施設長、医師、生活相談員 1 名、看護師 2 名、栄養士 1 名、機能訓練指導員 1 名、施設ケアマネ 1 名、介護職員 3 名（うち 1 名ケアマネ兼務）の計 11 名がファシリテーター養成研修を受講しました。モデルケースを実施する 2 グループの職員へ伝達研修を行いました。

ケアプラン会議開催にあたり、ACP の考えを取り入れるべくファシリテーター研修受講者を中心に検討会議を実施しました。

達成内容

ACP 導入にあたり、2 名をモデルケースとして選定。居室担当とケアマネージャー、ファシリテーターでアセスメント・サービス担当者会議を実施し、サービスの充実を図りました。

介護、生活支援サービスの充実

5月より特養及びデイサービスでインカムの使用を開始しました。迅速な情報の共有と対応につながっています。デイサービスでは、タブレット端末を使用し利用者の機能訓練状況を動画撮影し、居宅支援事業所に動画の提供を行いました。

利用者の重度化に伴い職員の勤務時間の変更を行い、時間帯での配置を見直しました。また、グループの固定配置化を行い感染症対応等に配慮し、安心安全に生活できるように支援しました。また尿測を行い、利用者にあったタイミングでの排泄介助ができるよう取り組みました。

あらゆるリスクへの備え

居宅介護支援事業所にて、タブレットを使用したリモートワークに取り組み、出勤ができない状況になっても自宅で業務を継続できる体制を構築しました。この取り組みを応用し、他事業所でも職員が濃厚接触者等で出勤ができない状況になっても、持ち出し用パソコンを使用し自宅からリモートで業務を継続したり会議への参加等につながりました。

新たなサービスの実施に向けた取り組み

他事業所（デイサービス等）が感染症等で営業が中止となった場合、一時的にその方にサービス提供を実施すべく、デイサービスにおいて「入浴時のみ」の短時間自費サービスを整備することができましたが、今年度については利用には至りませんでした。

地域 公益事業

クリーンレスキュー事業

民生委員・児童委員より相談をいただき、対象者に支援を実施しました。

自治会と光明荘職員との協働で庭の剪定及びゴミの片付けを行い、住環境の改善につなげました。

地域包括支援センターからの相談で、片付けたい思いがあるものの片付けられない住民に対し、家族と協力し合い環境整備につなげました。

コミュニティの活性化支援

近隣集合住宅の自治会長と地域課題について打ち合わせを重ね、引きこもり者等住民同士の交流の場作りの一環で、住宅集会所にて「なんでも相談会」を開催しました。実施時期や開催時間、周知方法の改善点が見つかり、次回につなげます。



新生高槻荘

高槻荘



事業施行概要

全室個室ユニット化の始動と新規事業の適切な運営について

令和3年8月に特別養護老人ホームが全室個室ユニット型になり、個別ケアの実現のため、ユニットケア研修を繰り返し実施し、従来型ケアからの業務改善を行いました。

新規在宅3事業においては、本体事業との連携をはじめ、法人理念の浸透に取り組み、対象地域の拡大により、地域の介護・福祉ニーズに幅広く対応することができました。



地域福祉活動に主体的に参加する高槻荘サポーターへの支援・協力について

高槻荘サポーターが実施する学習会や座談会を支援し、地域福祉の推進に取り組むことができました。

達成内容

半期に1回、サポーターに対して、感染症対策や耳より情報などの福祉学習会と地域座談会を開催しました。



重点項目

積極的な ICT 機器の活用について

特別養護老人ホームにおいて、Wi-Fi 環境を整備し、スマートフォンを活用した見守りシステムを導入しました。
ご入居者の安全な生活環境の提供及び業務の効率化に取り組みました。



医療サービスの充実

新たに常勤医師を配置し、看取りケアをはじめ、ご入居者に対する医療的ケアの充実を図りました。またグループホームへの訪問診療を開始することができました。
新型コロナワクチン接種をご入居者及び職員に実施することができました。



リハビリテーションの充実

コロナ禍において、連携訪問リハビリテーション事業所と協働し、自宅のできる機能訓練プログラムを立案し、ご利用者の在宅生活を支援しました。



地域 公益事業

高槻荘サポーターの取り組み支援・地域福祉の推進

高齢者の服薬管理や福祉用具に関する講座開催を支援し、住民同士の互助力向上に寄与しました。

近隣小学校での福祉教育への協力や認知症サポーター養成講座の開催などを通して、認知症の人にやさしい地域づくりを推進しました。

安心・安全を
グレードアップ!!

白島荘

事業施行概要

地域にとって欠かせない存在になる

地域の要望である「買い物送迎」について、実施に向けて調整を行い月2回の予定で開始しました。

また、この取組みが箕面市に伝わり、市の施策としての実施検討事項になりました。



ICTの導入でより一層のケアの向上を目指します!!

令和2年12月～1月に夜間の見守りセンサーのデモ機を導入し業者選定を行いました。令和3年2月～3月に導入へ向けて考察を行い、4月から導入しました。

達成内容

見守りセンサーを導入し、看取り期の状態把握・夜勤職員の負担軽減を実現しました。また、インカムアプリも導入し、迅速な情報共有による部署間連携で事故防止に繋がりました。

主事、栄養士、介護支援専門員（居宅）、生活相談員等様々な職種・事業においてタブレットやリモートワークソフトを導入し、計画的かつ効率的な在宅勤務を実現しました。



重点項目

新規事業の取り組み（外国人技能実習生の受け入れ）

介護技能実習評価試験と日本語検定合格に向け、技術習得のためのOJTや日本語学習の機会を設け、管理団体と共に生活面のサポートを行い、実習しやすい環境を整えました。



新規事業の取り組み② （ワークセンター小野原（仮称）の開設準備）

事業開始に向けて箕面市と複数回にわたり設計・業務内容等について打ち合わせを行っていましたが、箕面市の事情により開所時期が延期となりました。

あらゆるリスクへの備え

非常時の必要備品についての精査及び管理表を見直し、職員間の共有を図りました。また、在宅勤務が可能となる環境を整え、ケアマネを中心に在宅勤務を実施しました。

職員定着に向けた取り組みの推進

新たに人材育成雇用会議を設け、非常勤介護職員による送迎業務の見直し、求人方法の検討や職員満足度調査結果を用いた職場環境の改善等、新規雇用と離職防止に努めました。



地域 公益事業

地域公益事業の積極的な実施

新型コロナウイルス感染症拡大により、運動教室の実施は見送らざるを得ませんでした。引き続き下校時の見守り隊、小学校2校・中学校1校の車いす体験授業を実施しました。



地域のよりどころ
50年
これからも

東大阪養護老人ホーム

事業施行概要

みんなが笑顔。寄りそい、ささえあえる地域社会の実現を

高齢、障がい、子ども等多世代にまたがった福祉サービスを実施します。それぞれが共助のもと、互いに役割を担い、それぞれの立場を認め合い安心できる居場所づくりを目指します。



【よりそいの丘】若年性認知症の方への支援の拡充

若年性認知症の本人や家族を孤立させないよう社会と繋がる仕組みをつくりました。

達成内容

よりそいの丘では、B型の軽作業だけではなく、近辺の清掃、パンの移動販売にも同行して頂くなど、やりがいをもって通ってもらえました。

よりそいの丘では、人の流れなど動線を考えた売り場づくりや作業場所の配置を含めたレストランコーナーのリノベーションのため、近畿大学の教授、建築ゼミ学生と3回程度の話し合いの場を設けました。

達成内容

まずは喫茶店の看板、室内の様様替えについての案をいただきました。

「若年性認知症の方の就労や生きがいづくりのアセスメント表」を活用し、動画やイラストを生かした作業開発を行いました。

達成内容

作業手順の確認のため、写真や動画を使い反復作業に取り組みました。



【養護老人ホーム相談】施設での暮らしの中に社会とのつながりを

福祉的就労や地域でのボランティア活動、施設内で行う手作り小物の作成等を行うことで、入居者の社会参加につなげました。

達成内容

施設内での作業協力は23名、一般企業の内職作業では16名の方が取り組まれました。2月に活動報告会を行い評価しあうことで、エンパワメントを高め、施設での暮らしを豊かなものにすることができました。

介護予防の積極的な取り組み

- 【介護】①既存の介護予防体操やクラブ活動を推進し参加者の増員に繋がりました。ヨガには至りませんでしたが、ウエイトを活用し手足に負荷をかけたサーキットや体操レクが定着しました。
- 【介護】②検討会議を実施し、管理医師から個別に助言をする等アセスメントし、支援計画に反映しました。骨密度測定や骨粗鬆症研修を行い利用者に好評でした。昨年度比で転倒リスクが軽減されました。
- 【よりそいの丘】③近隣住民が自主的に開催されている体操教室の場を週1回提供しました。

新たなサービスの実態に向けた取り組み

常勤職員の採用や登録ヘルパーの採用が出来た事で、質の向上を目指す取り組みを実施することができました。よりそいの丘では、独居高齢者向けに天空パンを食べやすい量に改良したミニ天空シリーズを作成し、ニーズにそったパン販売に努めた結果、売り上げの向上につながりました。

地域住民へのサービスの実施

地域の方々の高齢化にともない、廃品回収のお手伝い、敷地境界線近くの草木の伐採、敷地内にある資源(黒竹)の無料配布を行いました。

障がい者とその家族への制度外支援の検討と実施

よりそいの丘では、重複・困難ケースなどの8050問題に対し、多職種の専門職、行政職などと連携し、制度内外の支援を活用しながら、ケース対応を蓄積し支援の向上に繋げることができました。

食事サービスの充実

養護老人ホームの嚥下困難者に対しスムーズに摂取できるようにトロミ調整食品の選別を行い食事摂取量の確保に努めました。デイサービスでは徳之島や小豆島の郷土おやつ作りや、地方の有名な銘菓を利用者様の多数決により決め「お取り寄せ」しました。ともに大変好評でした。

医療サービスの充実

養護老人ホームの常勤医師配置を実現させたことで、外部医療機関への緊急受診数を大幅に減らす事ができました。又、医師同士で直接病状報告や指示を行う事で密に連携を図る事ができ、スムーズに退院受け入れできました。

アメーバ経営の実践

コピー代、ペーパータオル代、エレベーター運転代など日常的に消費するものに対してコスト単価を表示し、見える化によって職員が常にコストを意識しながら業務を行うことができました。

地域 公益事業

施設から地域への情報発信・連携

近隣の近畿大学建築学部の学生向けに、オンラインでの認知症サポーター養成講座を12月に開催しました。内容は大学生向けにアンケートやクイズも入ったリアルタイム双方向型で行い、これまでとは異なる方向から地域へ向けてわかりやすい役立つ情報や支援の内容・方法を発信することができました。

地域住民へのサービスの充実

地域包括支援センターでは今年度の孤立死ゼロを維持するため、鍵預かり事業の実施の準備を進めました。新型コロナウイルス感染症防止のため自治会との話し合いは中断していますが、引き続き地域との連携強化を継続します。よりそいの丘では、地域の方々の高齢化にともない、廃品回収のお手伝い、敷地境界線近くの草木の伐採、敷地内にある資源(黒竹)の無料配布を行いました。



その人らしく、
ここで…

永寿園とよなか



事業施行概要

地域と繋がり 人と人が繋がる施設を目指して

SNS の開設やホームページのリニューアルでタイムリーな取組みの発信に繋げ、公式キャラクターの公募・選定による IC 活動等、地域内で開かれた施設運営を目指しました。

毎月開催しているパン販売において看板や袋作り、地域への呼び込み等、率先して入居者に担ってもらうことで、地域の一員としての役割を実感してもらえよう取組みました。

近隣住民と農地貸借契約を交わし畑作活動への取組みを始めました。野菜の選定から水やり、収穫までを入居者と共に行うことで地域で活動できるプログラムへと繋げました。



思い叶え “わたしらしく” を実現できる施設づくり

養護老人ホームが抱える課題や職員の不安解消に特化したミニ講座を年間計画に基づき実施すると共に、介護スキルを客観的に評価する「介護チェックリスト」の作成・運用に取組みました。

達成内容

チェックリストを基に評価し続けることで、重度化への意識が高まり、入居者支援の自信に繋がりました。その成果として重度化された方の施設生活継続を実現しました。



“思い叶えるシート”を基に、全入居者へ叶えたい想いのアセスメントを実施し、看取りケアの方がご自宅へ一時帰宅されるなど、その実現に向けた取組みを行いました。

達成内容

ACP ファシリテーターを3名養成し、“わたしらしく” 過ごせるように生活歴を通して余生への希望を聴く人生会議を開催し、看取りケアの選択肢への足掛かりとしました。



重点項目

新たなサービスの実施に向けた取り組み

在宅生活を希望される方に向けて、在宅復帰に特化したアセスメントシートを作成し、個々の課題解決に向けて自立支援に繋がるようケアプラン会議等で活用を図りました。

近隣農地を活用した水やり・収穫の畑作活動、施設内外の清掃、食事の盛り付け等、プログラムを基に入居者の自発的な関りを通して在宅生活を意識できるよう取り組みました。



介護ロボット、ICT 機器等の活用

バディコムの積極的な運用に努め、緊急時や感染症対応等の情報を一元的に共有することで、速やかに指示を行い、円滑な業務推進ができるよう、連絡情報共有体制を築きました。

育もう 優しい気持ち 多世代交流

企業主導型保育事業では、農地や屋上を活用し畑で野菜を育てることで好奇心を養いながら食育に取り組むと共に、年齢にあった玩具を揃え、遊びの体験や運動を通して”学びの芽生え”を育みました。

多世代交流の一環として、施設入居者と動物をモチーフに貼り絵や色塗りをした大型壁面の合同制作に取り組みました。その過程を写真と共に掲示し一体感の醸成を図りました。



地域 公益事業

地域の拠り所 拠点づくり

地域の拠点づくりに向けて、専門職による地域向けの公開講座を実施しました。感染症対応で来園が難しい場合でも施設のブログや YouTube を活用し、広く発信しました。

認知症サポーター養成講座についても事前予約制とし少人数での開催に取り組みました。新たに、WEB (ZOOM) 等を活用した出前講座の依頼にも応じることができました。

地域と共に！

豊寿荘



事業施行概要

未来を見据えた持続的な経営と施設機能の地域還元促進

『地域と共に！』歩いていく施設づくりを推進するため、多職種が地域に出向き地域のニーズ把握を行うとともに、地域の活動に積極的に参加しました。

また持続的な運営が図れるよう、各事業所において具体的な目標を設定し実践することで経営の安定に繋がりました。



直接支援職員、事務職員の管理体制強化

軽費老人ホーム（ケアハウス）、特別養護老人ホームの介護職員、看護職員の管理を介護科長、看護科長が一元的に担い、業務効率を図りました。

達成内容

介護職員の業務の実態把握調査を行い、現在現場が抱えている課題を抽出することで、効率のかつ質の高いケアを目指す目標設定ができました。

8つの拠点区分で行われている経理・総務事務の集中管理化ができました。

達成内容

同じ職員が経理・総務業務を集中的に管理することで、豊寿荘全体の状況把握が行えるようになり、無駄がなくなり業務効率を高めることができました。

重点項目

介護予防の積極的な取り組み

加齢による「筋肉量の減少」及び「筋力の低下」を指すサルコペニアの発生を防止することをテーマに、専門職による定期的な筋力維持の集団体操及びタンパク質等の摂取に着目した栄養指導を行うことで『自立支援・重度化防止』に寄与しました。

サルコペニア発生の有無を早期に把握する目的で、毎月スクリーニングとして『体重』『握力』『下腿周径』を測定し、各参加者に体力レベルのフィードバックを行いました。

各参加者が運動・栄養指導を通じて筋力の維持向上を自覚し、また転倒の危険性を自覚することで、重大事故の発生件数が前年より減少しました。



重点項目

医療サービスの充実

特別養護老人ホームやケアハウスご利用者の健康管理においては、必要に応じて点滴の実施や水分摂取量を個別に見直したことにより、尿路感染症の罹患の減少に繋がりました。
また、足の角質や爪の変形のあるご利用者に対して、医師の診察と処置により足の病変の改善を図ることで、歩行がしやすくなったとご利用者の生活の質の向上に繋がりました。

アメーバ経営の実践

アメーバ部門会議へのKCCS参画を通じて、具体的な利用者ニーズに見合ったサービスの提供と営業戦略を実施することで、サービスの向上と利用率の安定に繋がりました。

地域公益事業の積極的な実施

とよなか健康大学全校の卒業生へOB会発足の案内を行い、多くの方にご加入頂きました。
卒業後の自主活動の支援や地域活動への参画を支援しました。



「東町あいあい」では引き続き、東町に職員が出向き、健康体操や脳トレなど介護予防の取り組みを行いました。



地域 公益事業

“ALL for 地域”の気持ちで地域活動を！

豊中市西丘男性ボランティアの会の方々と協働で事業所近くの公園及び周辺環境の清掃、下校児童の見守り等を定期的に行い、コロナ禍でも地域活動を積極的に取り組みました。

その他、遠距離の歩行が困難な高齢者世帯を対象に、毎月お弁当を地域で配布される活動にも参加させていただき、お弁当の提供や運搬する支援を地域と共に行いました。



地域とともに
地域に生きる

万寿荘



事業施行概要

介護力を高めて安心した暮らしを提供する

清掃専従職員や宿直専従職員を配置することにより、職員に時間の余裕ができ、毎朝のラジオ体操を通じて入居者のADLの把握に努めました。

また個人の課題を職員間で共有することにより、生活の質の改善に努めました。



脳トレ体操教室

オンライン脳トレ教室を毎週土曜日に実施し、体操も取り入れながら、フレイル予防に努めました。

達成内容 35回開催し、延べ109名の参加がありました。



重点項目

介護予防の積極的な取り組み

コロナ禍でなかなか会えない方たちの様子伺いも含めて連絡を取り、一人暮らしの方を対象に体操指導で訪問をしました。

施設整備について

池田市の敬老の里プロジェクトの見直しにより、大規模改修工事の方向性について再検討を行いました。

地域 公益事業

ダイエー移動販売

毎週水曜日に行っていた移動販売を、土曜日にも実施するようになり、入居者だけではなく地域住民の方にも喜んで利用していただくことができました。



いつまでも
自分らしく
いきいきと

河南荘



事業施行概要

地域のセーフティーネットとしての役割を果たす

大阪府地域生活定着支援センターとの連携で矯正施設（刑務所等）退所者や、市町村からの要請による虐待事案による受入れなど社会的支援が必要な方の入居を支援しました。ホームページの更新に取り組み、入居に繋がる問合せや見学が増え、その効果を実感できました。また、職員それぞれの目線で綴ったブログ（今年度 70 件）の記事は、好評を頂きました。



施設内での就労支援の継続

施設外で就労できないご入居者に向け、施設内で収入を得ることのできる軽作業を行い、社会との繋がりを構築しました。

達成内容

毎月延べ 10 名以上の就労を継続する目標でしたが、コロナ禍の影響で思うように支援できない月がありました。そのような中、1 年間通して延べ 310 名の就労を支援しました。



重点項目

あらゆるリスクへの備え

新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを全職員に配布・周知したことで、職員や入居者への感染対策の初動がスムーズとなり、5 月以降の感染者の発生を抑えることができました。

地域 公益事業

地域住民と 入居者の関わり強化

新型コロナウイルス感染症が終息せず、行事の再開には至りませんでした。また、毎年開催されている河南町が実施する各種講習も今年度は中止となりました。コロナ禍のため、地域住民とご入居者が関われるイベントの実施に関しては自粛しました。

この街で
「暮らす」「働く」
を応援します

みずほおおぞら

事業施行概要

地域生活支援拠点としての機能の充実

シンポジウム開催に向けて事例の検討、モデルケースの構築を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で2度に渡る開催の延期となりました。

次年度の開催に向けて準備を進めました。

豊中市障害福祉センターひまわりの運営に係る検討

令和4年度からの委託を受けることができ、運営開始に向けて準備を行いました。



自閉症支援のスペシャリストの育成と利用者支援の充実

法人内研修の講師を担い事例検討会を重ね、外部研修に参加し、コンサルテーションに必要な助言・アドバイスの経験を重ね、スキル向上に取り組みました。

達成内容

他事業所（グループホーム）3回、自事業所4回、法人内事業所1回研修を実施。また、強度行動障害養成研修のライセンス4名取得することが出来ました。

評価キットを使用することで、細かなアセスメントを取り支援の充実に図りました。

達成内容

オリジナルの評価キットを作成することは出来ませんでしたが、既存の評価キットを使用し、全部署で評価方法の共有・実施を行うことで、支援サービスの安定した利用につなげることができました。

新しい雇用の創出と人材の育成

就労継続支援A型の利用者1名を対象に現場体験を実施しました。また、受け入れ職員を対象に、障がい事業所職員が講師になり研修を実施しました。

達成内容

特別養護老人ホームでの一般就労受け入れの流れを確立することができました。

重点項目

障がい事業におけるスムーズなサービス移行の推進

独自の地域移行システムを立案し運用開始に向け検討を行い、次年度の運営に繋がります。グループホームへの研修の実施を行い、高評価を得ました。今後も継続した研修会の実施を行います。障がい事業で統一したアセスメント様式を用いて利用者個々のニーズを可視化しました。利用者自身の能力を適正に評価し、本人が持てる能力を家族と共有しサービス移行を進めました。統一したアセスメント表を用いたサービス移行を通所事業で計4名実施しました。



広域な知識の習得による新しい支援の構築

ユニットリーダー2名が認知症実践者研修を受講しました。認知症の利用者を対象に、研修で培ったノウハウを活かした支援を実施しました。高齢事業職員に対し障がい者支援の研修を実施し、障がいをもった高齢者の受け入れがスムーズに行えました。また研修により支援への理解ができ、専門的な目線で利用者支援を行うことができました。

誰もが安心して暮らせる多様なサービスの実現

利用者の家族や事業所との連携強化のため、居宅支援事業所の開設を検討しましたが、他事業所と連絡を密に取ることで一定の効果がみられたため、事業所の開設は次年度以降の課題としました。



介護ロボット、ICT 機器等の活用

見守り支援機器の導入を行い、適正な支援量を測るアセスメントや、感染症対策に活用しました。また、より支援が必要な利用者への効果的な配置の検討に取り組みました。パワースーツ、レールリフトのデモ機導入を検討し、日誌入力をタッチパネルへ移行、業務の効率化を図りました。見守りシステムを5台から更に9台追加し、ICT化を促進しました。



地域 公益事業

ICT を活用した共生社会の実現に向けた取り組み

コロナ禍の下、近隣小学校で ICT 機器を活用した出張授業を行い福祉教育の一端を担いました。地域住民ボランティアによる調理レク等リモート機能を活用し約20回実施し交流を持ちました。

コロナ禍での地域ニーズの把握を目的に、自治会協力のもとリアカーによるパン販売を月2回行いました。

地域のボランティアからテーマ曲を頂くなど、地域住民より高評価を頂くことができました。



共にかがやく！

かがやき

事業施行概要

地域で信頼されるかがやきを ONE TEAM で目指します

介護老人保健施設では多職種連携を強化し、超強化型を算定することができました。在宅復帰後の生活が維持できるよう在宅部門や法人内事業所との連携を図りました。



在宅復帰を目指した生活リハビリテーションの充実

在宅復帰に向けてカンファレンスの充実を図るとともに、短期集中リハビリテーションを週3回から4回に増やし、在宅復帰を意識したリハビリプログラムを実施しました。

達成内容 在宅復帰率、50%越えを通年で達成しました。

入退所前後訪問 100%実施を目指して、ショートステイ、通所リハビリテーション、長期入所を組み合わせながら、在宅生活を継続できるよう、支援を行いました。

達成内容 入退所前後訪問を 90%以上実施し、在宅復帰に関するお困りごとや相談事に対応しました。



重点項目

あらゆるリスクの備え

法人感染症マニュアルを基に机上と実際のシミュレーションを実施し、必要物品等を整備しました。個人防護具の着脱研修は介護職員、全員が参加し習得することができました。

アメンバー経営の実践

部署毎に目標設定を行い、小集団活動を通じて全職員の経営参加を促し取り組みを進めました。年度末には各部署の目標達成状況を全職員で共有すべく報告会を実施しました。

地域の防災拠点としての機能強化

施設の避難訓練が実践的な訓練となるよう実施要綱を見直し、職員の防災意識向上に努めました。次年度は避難訓練で出た課題を基に災害BCPの充実に繋げていきます。

医療サービスの充実

看取りケア実施に向けて、他施設への見学やe-ラーニングを使った研修受講、老健での看取りケアの指針作成を進め、次年度に看取りケアが実施できる体制を構築しました。

新たなサービスの実施に向けた取り組み

WEB配信のリハビリ体操について、リハビリ科、療養科、通所リハビリテーションと協働して配信しました。また、各部署ごとの紹介VTRを作成しました。



新規事業への取り組み

OSJとよなかケアスクールが開校し1期生の受け入れを開始しました。とよなか人材育成センターではノーリフティング研修等を通じて人材育成事業に取り組みました。



地域 公益事業

買い物送迎

刀根山地区で長年課題となっていた外出支援について、校区福祉委員や社会福祉協議会等と連携しながら実現に向けて協議し、施設の送迎車両を使った買い物送迎を開始しました。



頼りにされる
研修・研究
センターを
目指して！！

OSJ 研修・研究センター

重点項目

自らが学び自己研鑽・自己啓発ができる力を養う

e-ラーニングを導入後、全職員が自ら研修に参加できるよう、視聴プログラムを作成し、各施設の実情に合わせて視聴を進めることができるように取り組みました。

認知症ケア事例集の発刊

佐藤先生、大庭先生監修のもと、1年半の期間を通じて各施設から35の様々なケースを取り上げ、ひとケースずつ生活における課題の抽出とプラン作成、実践、実践結果に対する評価、改善のプロセスを継続しました。それらを事例集としてまとめ上げ、法人全職員及び関係機関へ配布し情報発信を行いました。

外国人介護人材の育成

技能実習生への技能移転を行うにあたり、職員がOJTを通じて自身の介護に関する教育方法、基礎知識、技能を再認識することができました。

特定技能外国人の受け入れについては、制度の理解を深めインドネシア・モンゴルとの関係を構築することができました。





事業施行概要

第二期中長期経営計画の策定

これまでの10年間の総括と内部要因・外部要因の分析を行い、第二期中長期経営計画前期計画を策定しました。SDGsへの貢献を意識しながら、リスクマネジメント・社会貢献・人材確保・ICT化・医療力の強化が十分図れる内容としました。

重点項目

法人の魅力を伝える発信力の強化

法人としての魅力を発信できるよう、ホームページをリニューアルし、スマートフォンからの閲覧への対応や、更新が行いやすいデザインにしました。
また職員への情報発信、職員間の情報交換を行うための職員交流サイトを開設し、施設のPRや互助会活動、総合防災訓練等に活用しました。

経理事務研修プログラムの作成

社会福祉法人会計に必要な各種請求業務（介護保険、措置費等）と経理処理を関連づけるマニュアルを作成しました。

リスクマネジメントの強化

- ①感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるようBCP策定を進めました。
- ②「緊急時災害掲示板」を新設し、情報共有の強化を図りました。

介護報酬改定への対応

- ①介護関連データのLIFEへの提出、収集により自立支援・重度化防止に取り組む体制を整えました。
- ②かがやきにおいて見守りカメラとナースコールシステムの導入をはじめ、各施設で介護ロボット・ICT活用を図り業務省力化に繋がりました。

診療所機能充実

- ①感染対策室が中心となって課題解決、情報共有を行い、PCR検査・新型コロナワクチン接種を安全に実施しました。
- ②看護職員はe-ラーニングを活用し計画的に感染対応や手技の知識を深めました。結果、他職種への展開にも繋げることができました。

研修実施内容

①研修実施内容

種別	研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内容	
研修センター主催	一般職員向け	採用前集合研修	R.3.3.22～3.29 (内6日間)	30名	・法人理念 ・人権 ・接遇 ・緊急時対応 ・感染症について ・認知症ケア ・障がいの理解 ・基本介護技術 等	
		採用前・採用時基礎研修	R.3.4～R.4.3 (内2日間、施設状況に応じて随時)	延べ172名	・法人理念 ・人権 ・接遇 ・緊急時対応 ・感染症について ・認知症ケア ・障がいの理解 ・基本介護技術 等	
		フォローアップ研修	R.3.4～R.4.3 (施設状況に応じて随時)	延べ177名	・施設指導職と目標を共有し、指導・フォローを行う	
	職階別研修	主任または現場指導指導職員向け	主任昇任者研修	R.3.6.15	25名	・主任の役割 ・必要とされる管理業務
			第1期人事考課者研修	R.3.8.16	32名	・考課する視点の確認 ・中間面接 等
			第2期人事考課者研修	R.3.12.10	15名	・フィードバックのアプローチ方法 等
			ハラスメント研修	R.3.11.24	27名	・ハラスメントの理解と具体的な対策
			OJT研修	R.3.12.7(とよなかケア スクール) R.4.1(WEB)	12名 7名	・OJTの理解と実践
			リーダーシップ研修	R.4.1.26	16名	・リーダーとして意識すること ・部下を活かす組織について
			リスクマネジメント研修	R.4.1.27～R.4.2.25(WEB)	71名	・リスクマネジメントについて ・ハインリッヒの法則 ・事例紹介 ・KYT(危険予定トレーニング)
			ハラスメント研修	R.3.11.24	16名	・ハラスメント防止の組織作り
	科長または管理職を 目指す職員向け	管理職・指導職	財務管理研修	R.3.10.28	44名	・会計管理の基礎、税務の基礎 ・予算、決算書等の詳細な見方、適正な運営 及び事業所ごとに見るポイントについて ・数字を読み解くポイント(アマーバ会議で収益性、安定性を見る視点)
			人事考課者研修(3年毎に受講)	R.3.10.28 R.4.1(WEB)	48名 13名	・人事考課についての再確認
	受験対策セミナー	受験予定者	介護支援専門員 受験対策セミナー	WEB(R.3.6.16～R.3.10.10)	18名	・介護支援専門員受験対策に向けての重点内容
			介護福祉士 受験対策セミナー	WEB(登録完了～R.4.1.30)	施設内15名 外部3名	・介護福祉士資格試験の重点内容

研修実施内容

②外部派遣研修実績内容

研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内容
外部派遣研修	医療的ケア教員講習会	R.3.5.13	1名	【講義】 ・実務者研修の講師を行うに当たって、必要な知識を修得する
	認知症介護実践研修 (実践者研修)	①R.3.5～R.3.7 ②R.3.8～R.3.11	3名	【講義・演習】 ・認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門員を養成
	認知症介護実践研修 (実践リーダー研修)	R.3.11～R.4.2	0名	【講義・演習・他施設実習】 ・実践研修を修了した者が、リーダー的な役割を持った認知症介護の専門員を養成

③外部研修実施内容

研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内容	
大阪府指定	介護職員初任者研修	R3.10.1 ~ R4.4.28	62名	【講義・演習】 ・介護員としての相当の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにする	
	介護福祉士実務者研修	R3.4 ~ R3.12	36名	【講義・演習】 ・介護福祉士習得を目指し、医療的ケアも含めた、介護技術を習得し、実践できる人材の養成	
	大阪府相談支援従事者研修 (2日課程・7日課程・現任)	R3.9.17 ~ R3.9.24 (2日) R3.9.17 ~ R3.12.9 (7日) R3.12.10 ~ R4.3.4 (現任)	489名(2日) 130名(7日) 184名(現任)	【講義・演習】(7日課程・現任研修) ・障がい福祉サービスの相談支援事業所における相談支援専門員の養成 【講義】(2日課程) ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の養成	
	大阪府サービス管理責任者等基礎研修	R3.6 ~ R3.9 (基礎) R4.1 ~ R4.2 (実践)	543名(基礎) 172名(実践)	【講義・演習】 ・障がい福祉サービスにおけるサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の養成	
大阪府登録	喀痰吸引等研修(第二号研修)	R3.4.1 ~ R4.3.31	2名(基本) 4名(実地)	【講義・演習】 ・施設で喀痰吸引等が必要な利用者に対して、知識を深め、技術を習得し実践できる人材の養成	
	喀痰吸引等研修(第三号研修)	R3.4.1 ~ R4.3.31	5名(基本) 5名(実地)	【講義・演習】 ・介護福祉士習得を目指し、医療的ケアも含めた、介護技術を習得し、実践できる人材の養成	
堺市委託	認知症介護実践研修	堺市認知症介護基礎研修	①R3.9 ②R3.10 ③R3.12 ④R4.1	228名	【講義・演習】 ・認知症の基礎的な知識・技術とそれを実践する考え方を身につけ、基礎的な認知症ケアを行うことが出来るよう養成
		堺市認知症介護実践者研修	①R3.5 ~ R3.7 ②R3.8 ~ R3.11	77名	【講義・演習】 ・認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門員を養成
		堺市認知症介護実践リーダー研修	R3.11 ~ R4.2	23名	【講義・演習】 ・実践リーダーとしてマネージャートレーナー、としての知識、技量の向上を目指す。
		堺市認知症対応型サービス事業開設者・管理者研修	WEB R4.2	15名	【講義・演習】 ・堺市認知症対応型サービス事業開設者・管理者の養成
		堺市小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	WEB R4.1	5名	【講義・演習】 ・堺市小規模多機能型サービス等計画作成担当者の養成
		堺市認知症介護実践リーダーフォローアップ研修	WEB R3.11	9名	【講義・演習】 ・リーダー研修修了者のスキルアップを図るため、最新知識の習得や実践報告を行う。
		医療従事者向け・看護職員向け認知症対応力向上研修	R3.12 ~ R4.2	33名	【講義・演習】 ・認知症に関する基本的知識や実践的な対応力を習得し、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制を構築する。
		市民向け認知症対応力向上研修	R4.3	39名	・市民の認知症に関する知識の向上を図ることで、認知症のある人もない人の安心して生活できる街づくりを目指す。

④地域啓発研修実施内容

研修区分	研修名	実施年月日	参加者	内容
公開研修	介護支援専門員 受験対策セミナー	R3.6 ~ R3.10	1名	・介護支援専門員受験対に向けての重点内容 ※オンライン講義
	介護福祉士 受験対策セミナー	R3.11 ~ R4.1	3名	・介護福祉士資格試験の重点内容対策 ※オンライン講義

<https://www.osj.or.jp/>

〒562-0012 大阪府箕面市白島三丁目5番50号
TEL.072-724-8166 / FAX.072-724-8165